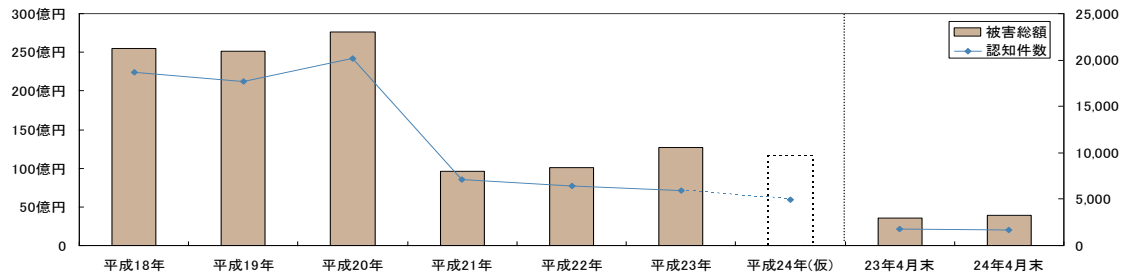


振り込め詐欺被害防止に向けた取組み状況等について

1. 振り込め詐欺の被害状況



※「平成24年(仮)」は24年4月末の計数を3倍した仮想値。

手口	18年	19年	20年	21年	22年	23年	23年4月末	24年4月末
オレオレ詐欺	6,797件 約147億円	6,300件 約145億円	7,470件 約155億円	2,928件 約52億円	4,267件 約79億円	4,411件 約107億円	1,388件 約30億円	991件 約29億円
架空請求詐欺	3,570件 約49億円	2,984件 約38億円	3,215件 約36億円	2,444件 約31億円	1,759件 約18億円	735件 約10億円	207件 約2億円	260件 約4億円
融資保証金詐欺	7,815件 約54億円	5,896件 約39億円	5,035件 約37億円	1,490件 約9億円	361件 約3億円	524件 約7億円	134件 約2億円	154件 約3億円
還付金等詐欺	480件 約5億円	2,491件 約30億円	4,467件 約47億円	294件 約2億円	82件 約7千万円	294件 約3億円	52件 約5千万円	248件 約3億円
合計	18,662件 約255億円	17,671件 約251億円	20,124件 約276億円	7,156件 約96億円	6,469件 約101億円	5,964件 約127億円	1,781件 約35億円	1,653件 約39億円

(参考) 各手口の被害者に占める男女割合等

手口	男性	女性	主な被害者層
オレオレ詐欺	17.7%	82.4%	女性・70歳以上(45.8%)
架空請求詐欺	42.7%	57.4%	女性・70歳以上(12.9%)
融資保証金詐欺	83.6%	16.4%	男性・50～59歳(23.9%)
還付金等詐欺	24.5%	75.5%	女性・70歳以上(45.4%)

※警察庁「特殊詐欺の認知・検挙状況等について(平成24年4月・暫定値)」にもとづき作成。

2. 被害の未然防止に向けた取組み状況

- 不正利用目的の口座開設防止・口座不正売買の防止
 - ～ 口座開設時の厳格な本人確認、口座開設目的の聴取等
 - ～ 同一人による過去の不正利用等の有無のチェック
 - ～ 口座売買禁止の周知 など
- 凍結口座名義人情報の共有
 - ～ 警察庁から提供される「凍結口座名義人リスト」にもとづき、リストに掲載された名義人からの新規の口座開設を謝絶するとともに、最寄の警察署に通報するなどして捜査に協力 など
- 店頭窓口・ATMにおける被害の水際防止策
 - ～ 高額の振込み・引出しを依頼する顧客に送金事由・事情等を確認
 - ～ 慌てている、そわそわしているなどの顧客に積極的な声かけ
 - ～ 携帯電話で通話しながらATMを操作している顧客に注意喚起
 - ～ ポスター、チラシ、チェックリスト、ATM画面のメッセージなどのツールを活用し、注意喚起
 - ～ 振り込め詐欺の疑いがあるにもかかわらず、振込み・引出しを依頼する顧客が納得しない場合は、警察官と共同で説得
 - ～ ATM利用限度額の引下げの呼びかけ など

3. 振り込め詐欺救済法等にもとづく対応

- ～ 法の趣旨、被害申出に係る連絡受付窓口、手続き等の周知 など